

令和5年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ゆい	代表者	岩崎 光登志	法人・事業所の特徴	弊社は創立以来、地域に根ざした介護サービスの提供を続けています。利用者個人に合ったサービス内容を提供することに力を入れています。週間プランにおいて、細かい利用時間、送迎時間の設定宿泊時間の調整、自宅で過ごすための調整を心がけています。専門的な医療を受けられるように、協力医療機関と連携を密にとり、訪問リハビリ等を継続して行って頂いております。
事業所名	小規模多機能施設 めぐみ (港北区)	管理者	八代 まり		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	5人	0人	0人	0人	3人	人	1人	3人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	毎月のミーティング時に個別のカンファレンスを行い、一人一人のケアプランについてスタッフ全員で見直しするようにする。	事業所自己評価の中で、個人のケアプランに対する取組みが課題となっていた。毎月のミーティング時に個別のカンファレンスを実施し、支援に活かした。業務用チャットを使用し、情報を共有しスピーディーな支援が行えた。	外部評価の改善点に対して努力をし、結果を出している。今後も取組みを続けて欲しい。(包括)	新規利用者の情報を簡潔に要約した「情報シート」をサービス開始後すぐに作成し、スタッフ全員で共有し統一したケアを行っていく。「情報シート」をスタッフがいつでも見られるようにし、利用者の目標「〇〇したい」を把握できるようにしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	清潔で明るい環境の維持は引き続き継続していく。毎朝の掃除、換気、消毒も引き続き気を緩めることなく継続していく。	居室担当者だけでなく、全員が環境維持に努め、清潔で明るい環境を維持できた。毎朝の掃除も換気と消毒を徹底しながら継続することができた。		毎朝の掃除、換気、消毒は引き続き継続していく。季節やイベントに合わせて壁絵や製作物を飾り付けて明るく清潔な環境を維持していく。
C. 事業所と地域のかかわり	レクや行事の様子をもっと広く地域の方に知ってもらえるように引き続き SNS を活用していく。	インスタグラムを継続的に更新することができた。現在フォロワー数 370 人。		インスタグラムを引き続き更新してレクの様子やイベントの様子を広く知ってもらえるようにしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域のイベントごとを回覧板やホームページで把握し、コロナの状況を見ながらできる範囲で関わりを持つようにしていく。	地域のイベントに参加は難しかったが、個別に外出するなど地域に出向いてご利用者様の生活支援ができた。		回覧板や区の便りなどで地域資源について情報を収集し、地域の行事やイベントについて調べて参加できそうな行事には事前に準備、計画を立てるようにしていく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>オープンガーデンには来年も参加して、もっと広くの地域の方に「めぐみ」の存在を知ってもらい、地域の方々と関わりを持てるようなイベントを企画・提案していく。</p>	<p>港北オープンガーデンには無事に参加することができた。運営推進会議で頂いた情報で防災訓練や掃除には参加したが、ご利用者様と一緒に参加が困難であった。</p>		<p>オープンガーデンには来年度も参加して地域の方々との交流を深めていく。利用者様と一緒に参加できるイベントを探して施設以外の場所でも活動できるように支援していく。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>施設の防災訓練に地域の方や消防署の方にも参加頂けるように検討していく。 災害時の事業継続計画（BCP）策定に取り組む。</p>	<p>今年度の防災訓練では消防署の方が参加して頂けた。 地域の方へ参加のお誘いはできなかった。BCPの策定は現在進行中である。</p>	<p>意見なし</p>	<p>災害時の備蓄品は定期的に期限を確認し常時保管していく。 今後は保管場所についても検討し、いざという時に取り出しやすい場所に物資を保管する。</p>